

工業用水道自動検針用配線工事施工基準

みおつくし工業用水コンセッション株式会社

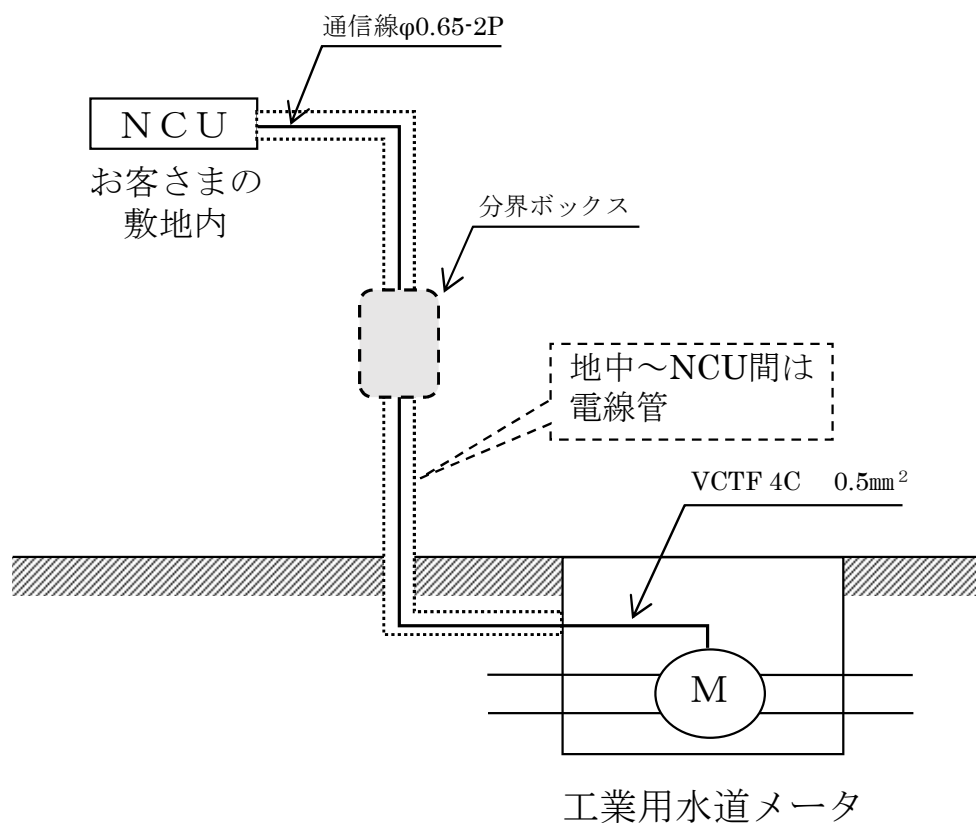
当社は、検針センターから無線端末を介して工業用水道メータの検針値を読み取る、自動検針システムにより検針を行っております。検針に必要なケーブル等の敷設は工業用水道の使用を申し込まれた方の費用で施工していただく必要がございます。

本施工基準は、その配線工事に関する基準等を定めたものです。

1 無線端末方式（配線イメージ）

以下のイメージ図 1 をもとに、自動検針設備を設置してください。検針にかかる毎月の通信費は当社が負担します。

工業用水道メータボックスから無線端末（NCU）までの間。



イメージ図 1

留意事項

1. メータから NCU の配線ルート（鞘管の挿入など）を確保してください。
2. メータ付属のコード長は 10m ですが、保守用に 2 m 確保する必要があるため、メータ～NCU 間の延長は 8 m とします。この場合、電線管にはメータコード通線用の呼び線を入れておいてください。
3. メータ～NCU 間の延長が 8 m を超える場合は、VCTF 4C 0.5 mm 2 相当のケーブルを敷設しておき、メータボックス内で保守用に 2 m の余長を確保してください。
4. 分界ボックスの設置は必須ではありません。超過流量計もしくは SR-4 の設置を希望する場合のみ分界ボックスを設置してください。

2 （配線図）

末尾の指定業者に依頼し、配線図を作成してください。施工後に当社で保管いたします。

3 （使用材料）

品名	仕様
ケーブル（NCU～メータ）	0.65/2P 及び同等品以上
NCU	NTT テレコン（株）仕様（8bit 対応）
分界 BOX	NTT テレコン（株）仕様（4P 端子付き） 又は 4P 端子付き収納 BOX
金属ネジ類	SUS 製等耐久性の高いもの
電線管その他	JIS 規格等及び NTT（株）の適合品（ビニル管 推奨）

4 （配線の施工方法）

（1）地中埋設の場合

（2）下記の電線管を敷設し、配線してください。

- ・波付可とう電線管（FEP CD 管 30 以上）
- ・耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVE16 以上）

（3）次の場合、ハンドホールを設置してください。

- ・延長が長くなる場合、分岐部分等。

(2) 架空配線の場合

- ・つり線に懸架してください。

(3) 壁面露出配線の場合

- ・原則として、電線管を使用してください。

(4) 分界 BOX の取付位置について

- ・通信チェック用の端子箱であるため、メータの近くに取り付けてください。

(5) その他

- ・ケーブルに損傷が生じる恐れのないように配線してください。特に埋設深さに留意してください。

5 (配線施工の留意事項)

- ・放送電波・各種通信電波の影響が考えられる場合、モータ・動力機器・電力線等の近くに配線する場合等は、シールド線または金属製電線管を使用してください。
- ・他の電線と平行または交差する場合は、十分な間隔を取ってください。
- ・AC100V 以上の電源線・動力線と平行または交差する場合、50 cm以上隔離してください。

6 (指定業者)

自動検針用配線工事は、当社指定業者で施工してください。

指定業者

業者名	住 所	電 話
エヌ・ティ・ティ テレコン(株)	大阪市 港区弁天 1-2-12	06-6571-8811